

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	FORGE FIRE	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：FORGE FIRE

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

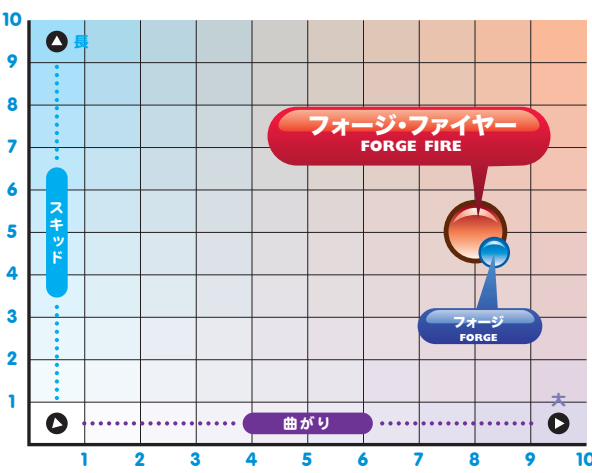
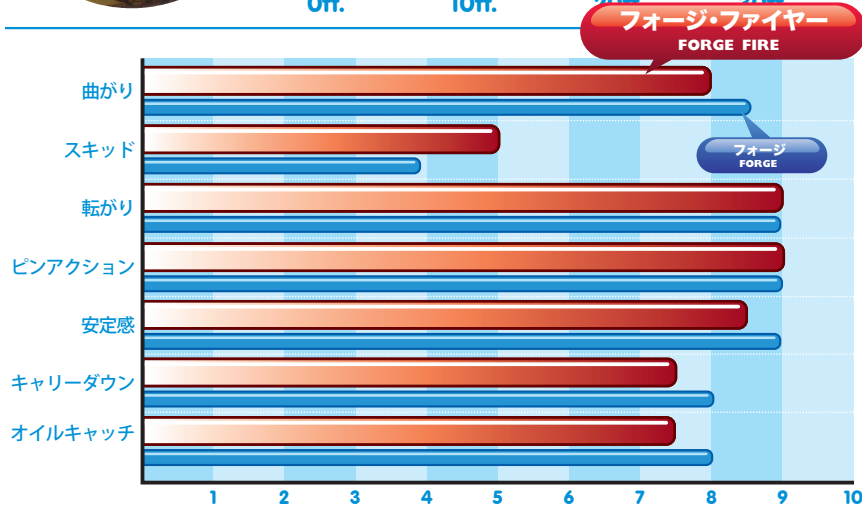
比較対照ボール：FORGE

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

特記事項

FORGE FIREはMOTIVのミディアムヘビーオイルFORGEラインの最新製品で、新しいINFUSION Hybrid Reactiveカバーストックが採用されており、オリジナルのFORGEよりもバックエンド、特にドライゾーンの反応が遙かに明確に出ています。MOTIV社はFORGE FIREにおいて開発コンセプトの一つとして「目立つ配色」を打ち出しているため、とてもHotなワイルドな配色に仕上がっていると思います。

FORGE FIREに採用されたINFUSIONカバーストックはRIPCODEにも導入していますが、非常に反応の良いカバーならではの角が出やすいシェルで、MOTIV社で以前に発売されたどのボールよりもRIPCODEが角度が一番出るという報告を受けています。私のテストの感想はFORGEとロゴが入っていなければFORGEと分らないほど全く別物のボールの印象でした。オリジナルのFORGEは緩やかな転がりを持続する性能でしたが、このFORGE FIREはオイルにも強く、過激に角度を取りにいけるイメージが印象深く、コアは現行のままからRIPCODEに採用されたINFUSIONカバーの特性がかなり過激にリアクションをだせるパフォーマンスを持っていることはRIPCODEとFORGE FIREのテストで立証されました。

先で急激に動きが出せるイメージでラインが取れるので、オイルを使いタイトにラインを攻めても、ドライなポイントへ出して戻すラインも取れ各々タイプの違うパワーにもさまざまな用途で使用して頂けるとと思います。MOTIV女子キャプテン山田幸プロがテストドライブでパーフェクトを出すなど、発売前からワイルドな配色と性能で注目度の高いボールの発売です。Forge Fireの驚異的なパフォーマンスに加えて、濃い赤と黄色のパールカバーが目を引き色の組み合わせです。濃いオレンジ色のパールNeoMark Forgeロゴとこのワイルドな配色を組み合わせたものは、注目を集めること間違いなしです。

オイル上でもしっかり摩擦させてもエネルギーが先まで残り、しっかりとバックエンドに反映できるのがINFUSIONカバーストックの特徴です。先で明確な動きを求めている方は、RIPCODEもしくはFORGE FIREをお使いください。